

小・中学校 LD（学習障害）・ADHD（注意欠陥/多動性障害）
及びODD（反抗挑戦性障害）の児童生徒数調査結果について

義務教育課

1 調査対象

県内の公立小・中学校児童生徒

2 調査時期

各年度 9 月末

3 調査方法

調査用紙を各学校に配布し、各項目について、医師の診断や臨床心理士、児童相談所等の専門機関の判定を受けている児童生徒数をカウントした。

4 留意点

（１）平成 19 年度より、アスペルガー症候群の項目を追加した。

（２）対全体比の母数は、各年度 5 月に実施している学校基本調査の統計を使用した。

平成 23 年度	{	小学生	・・・	1 2 0 , 5 6 9 人
		中学生	・・・	6 1 , 7 2 8 人
		計	・・・	1 8 2 , 2 9 7 人

（３）『(5)「その他」の児童生徒の在籍数』には、広汎性発達障害（PDD）、高機能自閉症（HFPPD）、行為障害（CD）の児童生徒数がカウントされている。

小・中学校 LD（学習障害）・ADHD（注意欠陥／多動性障害）
及びODD（反抗挑戦性障害）の児童生徒数調査結果について

訂正

義務教育課

（１）LD（学習障害）児童・生徒の在籍数

年 度	小学校	中学校	合 計	対全体比
１５年度	81	33	114	0.06%
２１年度	170	78	248	0.13%
２２年度	169	103	272	0.15%
２３年度	177	124	301	0.17%

（２）ADHD（注意欠陥／多動性障害）児童・生徒の在籍数

年 度	小学校	中学校	合 計	対全体比
１５年度	359	104	463	0.24%
２１年度	715	331	1,046	0.56%
２２年度	776	362	1,138	0.62%
２３年度	889	441	1,330	0.73%

（３）ODD（反抗挑戦性障害）児童・生徒の在籍数

年 度	小学校	中学校	合 計	対全体比
１５年度	3	0	3	0.00%
２１年度	13	9	22	0.01%
２２年度	8	6	14	0.01%
２３年度	13	6	19	0.01%

（４）アスペルガーと診断児童・生徒の在籍数

年 度	小学校	中学校	合 計	対全体比
１５年度	-	-	-	-
２１年度	474	304	778	0.41%
２２年度	526	311	837	0.45%
２３年度	512	332	844	0.46%

（５）その他の児童・生徒数の在籍数

年 度	小学校	中学校	合 計	対全体比
１５年度	217	39	256	0.13%
２１年度	983	243	1,226	0.65%
２２年度	1,187	334	1,521	0.82%
２３年度	1,422	412	1,834	1.01%
障害等	・広汎性発達障害(PDD)、高機能自閉症(HFPDD)、行為障害(CD)児童生徒数の計			

（６）(1)～(5)までの総合計の推移

年 度	小学校	中学校	合 計	対全体比
１５年度	660	176	836	0.43%
２１年度	2,355	965	3,320	1.77%
２２年度	2,666	1,116	3,782	2.05%
２３年度	3,013	1,315	4,328	2.37%

アスペルガーについては、平成19年度から調査開始。